

本能寺ほんのうじは京極通押小路おしこうちの南にあり、法華宗にして勝劣派しょうれつぱなり。〔古は妙顕院の塔頭たとうたりしが、日像上人にざうより四世日齋上人せい勝劣しょうれつの一派を興隆す〕開基は日隆上人、初の地は六角の南油小路の東にあり。〔今本能寺町といふ〕中興ちゆうこう権大僧都日与上人筑波集といふ和語の書を著す。方丈の前の門は聚楽城じゆらくじやうよりこゝに移す。〔彫物花美なり、左甚五郎ひだりの作とぞ〕三十番神の社は原愛宕山もとあたごさん権現ごんげんの古社なり。〔瓦葺にして他に類なし〕織田信長公塔おだのぶながこうのたふ〔本堂の東にあり、天正十年六月二日当寺旧地において明智光秀あけちみつひでが為に自殺す、委しんは信長記しんちやうに見えたり〕題目曼陀羅〔宗祖日蓮上人にぢれんの筆なり、表具は紺地の純子に唐草の地紋あり、これを世に本能寺切といふ〕